

リチウムイオン電池は発火の危険があります

～パソコンや小型家電は正しいリサイクルをお願いします～

多くの充電式の小型家電(モバイルバッテリー・ハンディ扇風機・電動歯ブラシ・加熱式たばこなど)には、リチウムイオン電池が使用されています。

リチウムイオン電池は、過度な力が加わると激しく発熱や発火を引き起こし、大変危険です。西秋川衛生組合でも発火事故が急増しており、写真のような火災が発生しています。



<火災を防ぐポイント>

- ①充電式の家電製品を処分する際は、製品の取扱説明書を確認する。
- ②リチウムイオン電池が使われている製品は、電池を外して分別する。
(例) デジタルカメラを廃棄する場合
 - ・デジタルカメラ本体は、「使用済小型電子機器」として排出。
 - ・リチウムイオン電池は、「**有害ごみ**」として排出。
- ③リチウムイオン電池内蔵が不明だが、電池だけを取り外すことができない製品やリチウムイオン電池内蔵製品を廃棄する場合は、単体で透明の袋に入れ「**有害ごみ**」の日に出してください。
*パソコンや小型家電は資源として利用価値のある金属を含んでいますので、小型家電リサイクル法などに基づく適正なリサイクルにご協力をお願いします。

蚊の発生防止強化月間

東京都では、6月を『蚊の発生防止強化月間』としています。

デング熱やジカウイルス感染症などを媒介する蚊は、たまり水に産卵し、繁殖します。感染症の発生を未然に防ぐためには、たまり水をなくし、蚊の発生を減らすとともに、蚊に刺されないようにすることが大切です。みなさんと協力し、蚊の発生防止に取り組みましょう。

「たまり水を無くして 蚊無い安全」

【蚊対策のポイント】

【幼虫対策】

- ・身の周りの「たまり水」をなくしましょう
例：バケツ、植木鉢の受皿、空き缶など

【成虫対策】

- ・やぶ、草むらは定期的に入手入れをして風通しや日当たりを良くしましょう。
- ・蚊に刺されないように長袖・長ズボンを着用し、虫よけ剤を活用しましょう。



※このページの問い合わせは、環境課 ☎ 83-2367